

第1回 洲本市特別職報酬等審議会 会議録（要約）

《資料集の説明について》

委員：洲本市の財政指標について、金額が大きすぎて我々には実感がわからないが、平成22年度の歳入総額が26,873,741千円で、この年だけ他の年度よりも高いのは何らかの理由や事情があるのか。

事務局：一般会計の金額ですが、国からの財源移譲や交付税措置などの大きな要素があったことが推測されます。

《審議》

○県下他市との比較について

委員：県下での順位の適正はよくわからない。財政状況に合わせて決めるべき。

委員：財政収入がポイントである。交付税以外の収入の道があるかどうかポイントになる。

委員：各報酬額は、相対的には県下で中盤であるが、財政収入の中からどれだけ支出できるかを考えるべき。財政指標では、経常収支比率や実質公債費率を見ても、淡路3市はどこも高い。公債に頼っている状況で歳出を増やすのは難しいのではないか。歳入を増やす方法があるのなら、その中で検討すべき。

委員：将来負担比率も高い。

委員：洲本市はふるさと納税の状況はどうか。

事務局：昨年度は9億円で県下トップです。今年度は12月末時点で12億円です。

○本市の現行の特別職の給料・報酬・期末手当の経過について

委員：平成25年7月1日から平成26年3月31日まで減額しているが？

事務局：この年は東日本大震災による臨時特例として、全国的に減額措置を講じています。職員の給料も合わせて減額しています。

委員：市民としては、自主的な減額措置は、いいことだと思っていたが、いつまで実施したのか分かりにくかった。

委員：特別職の収入の順位が洲本市は11番目であるが、それより下に本市よりも人口はるかに大きいのが、給料が低い所がある。洲本市は以前、県下でも中核都市という位置付だったが、人口では下の方に来ているのか。

事務局：小野市、西脇市、加西市が人口規模では類似しています。

委員：以前はよく豊岡市と比較していたと思うが。

事務局：豊岡市は合併の関係で人口8万人です。

○特別職の職務職責について

委員：サラリーマンは毎月査定される。議員は選挙での審判はあるが、できれば2年に1回ぐらいの審査することを考えてほしい。

委員：何を根拠にしてこの金額（特別職の収入）が出ているのかがわからない。人口から見ても、洲本市より人口の多い所よりも高い。元々の金額の根拠がわからない。決して低すぎる感じではないと思う。

事務局：昭和28年に旧洲本市制が始まった時以後、報酬審議会を開催して決定してきましたが、この歴史の積み上げの結果です。

委員：洲本市、南あわじ市、淡路市の議員報酬について、3市のレベル合わせの必要は？

事務局：洲本市が他の2市よりも給料面で高いのは、3市の合併の経緯が影響しています。他の2市は旧町のみでの合併でしたが、本市は市と町との合併でしたので、他の2市よりは高くなっています。

委員：将来的に合わせる予定は？

事務局：淡路2市の実態もふまえて、今後も審議会で審議いただき、これらの意見から決定されるものと考えます。淡路市は議員の期末手当をこのたび0.15月上げていますが、あくまでも推測ですが、支給割合において、県下の他市との均衡を保つためと思われる。

委員：公務員の期末勤勉手当はピーク時で支給割合が5.4月分、底が3.9月分だったと思うが、人事院勧告でここ数年は上がっている。人勸が民間の給与実態に合わせていることを考えると、期末手当は上げるべきだと思う。

議員報酬に関しては、議員は副業が可能なので、社長をしながら議員をしている人もいますが、市議会議員だけの人もいます。議員収入だけの人を考えると、年間600万円ちょっとというのは少ないので、改善すべきと思う。

委員：平成30年、31年の税収は実感として増えている可能性がある。期末手当は人勸に合わせて上げたほうがいい。

委員：市民感情から見ると高いと思う。

委員：社長をしている人には高い。

委員：議員には出張の手当は出ているのか。

事務局：公務であれば出ています。公務以外は出ません。

- 委員：人事院勧告は民間の給与実態に合わせて出されているので、期末手当を戻すのであれば、そろそろかなと思う。経済実態に合わせて上がることも下がることもあるし、県下でも人勸を反映していないのは少数派である。
- 委員：市議会議員の立候補は市との利害関係があれば、入札の談合などの関係でできないが、電子入札が普及しているので、立候補できるように改善して、有能な人材を確保すべき。
- 委員：優秀な人に議員になってもらうために、年間 650 万円が安いか高いかを評価すべき。
- 委員：企業では賞与は業績に連動し、月例給は職位で上下させている。市での業績が歳入に当たると考えるなら、柔軟性を持たせたほうがいい。
- 委員：期末手当の率は低くても、金額は2市よりも高い。
- 委員：優秀な人を集めるために多少のプラスは必要だと思うので、上げるタイミングではあると思う。来年再来年の収入の様子を見ながら。

○その他

- 委員：洲本市では副市長2人体制だが、このくらいの人口規模の市で副市長を2人置いている所はあるか。
- 事務局：淡路市が2人置いています。合併時の申し送りで2人体制になっています。